



広報みまた

乾布まさつ・うすぎ運動で 体をきたえよう



三股小は、児童の健康増進のために乾布まさつで体をきたえています。

当校では、まず第一に健康な児童を育てるには、特に万病のもととも言われている「かぜ」の予防対策がねらいで、昭和四十四年から「乾布まさつ・うすぎ運動」が進められています。

この時期になると、児童たちも元気で先生方と一緒にになってピーンとはりつめた冷氣の中で上半身裸になり、肌が赤くなるまでタオルでこする。

鳥肌たっていた肌も赤くなり、生き生きとして少しばかりのかぜは吹き飛ばし、元気で広い運動場をいっぱいにかけまわっている。

年頭のあいさつ

三股町長 田中 康穎



明けましておめでとうございま

す。輝かしい昭和五十二年の新春をを迎えるにあたり町民皆様方の御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。

私は就任以来、皆様の卒直で、しかもも建設的御意見を拝聴し、三股町の進むべき方向を思索しながら町政を担当して参りました。

お陰をもちまして本町の社会施設は整備され、均衡ある住民福祉の基礎が形成されつつありますことは皆様と共に御同慶にたえませ

みます。

「文化の日」の三日、昭和五十一年度文化賞の受賞式と産業祭が

盛大に行われました。

受賞式は、町役場大会議室で式

文化賞受賞式と産業祭を盛大に

年頭にあたりて
三股町議会議長 楠見吉雄

で本年も国民生活はなお混沌が予想されます。

私達は、その社会の多様化と激動する中でお互いに試練に堪えながら、町民の福祉の増進のために努力いたしました。

本町は幸いにして環境に恵まれ都城のベッドタウンとしての色彩を年々深めつあります。が、更にそ

れにふさわしい環境作りのため道路の整備、下水道整備、区画整理の推進、住宅の建設、児童館の建物落成を衷心よりお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい昭和五十二年の新春を寿ぎますと共に、町民の皆さんの御活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

新年を迎えるに当たりまして、私達町議会議員は今年も町民の皆さん方の期待と信託に応えるべく、更に貢献的努力を繰り、本町の町政の発展に寄与するため、その決意を新たにいたします。

昨年は、国内外の情勢はまぐらの激動を極め、政局もロッキード事件で揺れ動き、昭和四十八年の石油危機の余音による経済不況はなおそのおりを続け、安定成長からや景気も上向きにならなかったもの、國の財政事情は依然としてきびしく、ここに二年続きた赤字国債の発行をみ、国鉄郵便、電話など公共料金の軒並の引上げ

さて、これから社会経済の情勢は、かつて「黄金の農業時代」から内外の諸情勢とともに極めてきびしい「激動と変革の時代」に変化していくことが予測されます。石油資源問題に端を発した經濟の低迷は消費から節約の時代に変わり地方財政の急迫と共に一つの転機にさしかかったと思はります。云う。このあたり私はすぐれた技術の持ち主で、生産者は実績満載といつ頃がで、生産者の方からその時期になると必ずいつ頃がで、この時期になりますといつも首を長くして待つてもらえるのか、この時期になりますといつも首を長くして待つてもらえた。年間と長きにわたり、しかも、当時は町内ただ一人の粗挽加工業者でありました。

粗挽加工はすぐれた技術を持ち、常に努力を傾注したいと思いま



晴れの受賞者

典年にわたり、本町の産業及び教育振興の向上に多大な貢献を賜わりました。次の方々に、晴れの文化賞が贈られました。

産業部門の北野寅清氏は、四十

年間と長きにわたり、しかも、当時は町内ただ一人の粗挽加工業者でありました。

粗挽加工はすぐれた技術を持ち、常に努力を傾注したいと思いま

ます。私は心更に引き締め、皆様方の御協力をいたさぎながら、この難局を打開して参る決意あります。最後に新しい年が皆様に

とりまして最良の年になりますように、心からお祈り申し上げまして新年の御挨拶と致します。

盛大に行われました。

受賞式は、町役場大会議室で式

設、或いは農畜産の振興などに取り組み着実な実績と成果を納めてまいりました。

昭和五十二年度は多少経済状況が好転するものと期待しておりますが、なお不況による耐乏は今後も続くのではないかとおぼえています。

昭和五十二年度は多少経済状況が好転するものと期待しておりますが、年頭にあたり私達は町民の皆さんと一緒に、年頭に幸せと微笑みが満ちあふれ、最良の年でありますよう、将来に夢を託し、現性を以て、前進していきたいと思います。

年頭にあたりまして、町民の皆さんに幸せと微笑みが満ちあふれ、最良の年でありますよう、将来に夢を託し、現性を以て、前進していきたいと思います。

年頭にあたりまして、町民の皆さんに幸せと微笑みが満ちあふれ、最良の年でありますよう、将来に夢を託し、現性を以て、前進していきたいと思います。

昨年度は前半が講演、午後が体力つくりのバレー大会を実施いたしていましたが、昨年度は研修一本とし各学校より成人教育は、本当に有意義であったと思います。

関係について発表がありました。三股小から、成人教育部を代表して、中國勉さんと家庭教育部学級の一つの解決策を提案されました。田中の東行雄さん、宮村小和田博見さんと成ら、成人教育部のあり方として自主的運営の方へ向んでいる形で発表しました。

三股町の父母に対して多くの問題を投げかけられて有意義の内

加工組合主催の郡、県の競技大会に出場され、長い経験と努力を發揮され常に立派な成績を上げられており、今までその成果が町内の各業所等に立派に残されています。

芸術部門の林三世子さんは(仲町)は、県立都城西高校を昭和四十年卒業と同時に上京され、現在日本美術院員であり、日本書道家大石隆子先生の門下生となられました。

日本書道の最高の門と云われる林三世子さんは「日本で創成され、それ以来毎年入選の栄を受け、本年度まで連続五カ年間入選」という

素晴らしい実績を示されました。日本書道一筋に打ちこみ、将来の大成を嘱望されている郷土さんが確んだけます」と固い決心で京都で修練され、その間、昭和四十六年には早くも東邦書道展特別部の名跡を継承される書道家石川隆子先生の門下生となられました。

日本書道の最高の門と云われる林三世子さんは「日本で創成され、それ以来毎年入選の栄を受け、本年度まで連続五カ年間入選」という素晴らしい実績を示されました。日本書道一筋に打ちこみ、将来の大成を嘱望されている郷土さんが確んだけます」と固い決心で京都で修練され、その間、昭和四十六年には早くも東邦書道展特別部の名跡を継承される書道家石川隆子先生の門下生となられました。

消防補給車を本部に配置

去る十一月五日、新しくおめみえした消防補給車を本部に配置されました。

これで現在本部は既水槽付自動車ポンプ外一台と今回配置された補給車計三台が配置され、各部も昭和四十九年度を最後に単年度で小型ポンプ付槽車七台が配備されており、火災や災害等に小型ポンプを積載しておらず県内でも一台の新鋭車あります。

これで、本部の消防体制は一段と充実し、水利不便の火災発生時消火も積載している小型ポンプについています。

本部に配置された補給車は、既水槽付消防ポンプ一台と今回配置された補給車計三台が配置され、各部も昭和四十九年度を最後に単年度で小型ポンプ付槽車七台が配備されており、火災や災害等に小型ポンプを積載しておらず県内でも一台の新鋭車あります。



盛大に老人クラブ総会

第十三回町老人クラブ総会は、十月三十一日午前八時三十分から三股小体育館に約八百五十名の会員が参加して行われました。

開会あいさつ後は早速長年寝たきり老人のお世話をし、次に五名の方々に老人クラブ会長から感謝状が贈られ、来賓をはじめ会員の皆さんから暖かい

拍手がおくられました。

会長のあいさつの中でも優れた老人の介護を長年お世話をすることは誠に大変なことです。

が、今後ともよろしく頼みます。また、町長は町政の現状と老人の方々もいつまでも長生して下さいと祝いのあいさつを述べました。



を始動して、既水槽付消防ポンプ車に送水もできる仕組み、また直接消火もできる装備になつておられます。

「火災は人災、防ぐはあなた」でありますから、火災を出さない注意が肝心です。

本年もよいよい、火災多発期を迎えています。町内から一件の火災も発生しないよう、火の取扱いには充分注意して下さい。



当日は八時頃からマイカーやマスクバスでぞくぞく見え、会場も行政区毎に座が指定され、久方通りの対面に話しもはずみ総会も盛況でした。

尚、この後、第一回の町社会福

祉協議会並びに福祉行政機関四団

が開かれ、各地區から選ばれた選

手の皆さんも昔の若い時代を思

いには充分注意して下さい。

と祝いのあいさつを述べました。

例年通り二月初旬から皆さん

の申告を受けています。

今年も県民税の申告をする時

期がまいりました。

ご存知のように納税は等しく私達の義務され、これを確実に履行するには皆さんの自主的な申告にもとづく課税、そつして各個人の納税という手順を経なければなりません。このために現在、税務

事務につきましては、皆さまの理解ある協力によりまして無事済ませることができました。

今年も県民税の申告をする時

期がまいりました。

ご存知のように納税は等しく私

達の義務され、これを確実に履

行するには皆さんの自主的な申

告にもとづく課税、そつして各個人

の納税という手順を経なければな

りません。このために現在、税務

事務につきましては、よく熟

読のうえで協力をお願いしま

す。

現在で町内に住所を有する人は全

て三月十五日までに申告をしなけ

ればなりません。

（備考）資産割は含まない。

昭和五十一年度の県民税課税事務につきましては、皆さまの理解ある協力によりまして無事済ませることができました。

今年も県民税の申告をする時期がまいりました。

ご存知のように納税は等しく私達の義務され、これを確実に履行するには皆さんの自主的な申告にもとづく課税、そつして各個人の納税という手順を経なければなりません。このために現在、税務事務につきましては、よく熟読のうえで協力をお願いします。

昭和五十一年度の県民税課税事務につきましては、皆さまの理解ある協力によりまして無事済ませることができました。

今年も県民税の申告をする時期がまいりました。

ご存知のように納税は等しく私達の義務され、これを確実に履行するには皆さんの自主的な申告にもとづく課税、そつして各個人の納税という手順を経なければなりません。このために現在、税務事務につきましては、よく熟読のうえで協力をお願いします。

申告はもれなく全員しましょ

課住民税担当係の係に

おいては、新年度課

税事務をより円滑に

進めるために準備中

であります。税につい

ての各種、広報は皆さまの生活

と関係がありますので、よく熟

読のうえで協力をお願いしま

す。

例年通り二月初旬から皆さん

の部落、職員が出向いて申告を受

付けることになつております。

で、よろしくお願ひします。

申告は、昭和五十二年一月一日

現在で町内に住所を有する人は全

て三月十五日までに申告をしな

ければなりません。

（備考）資産割は含まない。

-4-

周刊

中高層住宅（ひえ田）が近く完成

盆地の中で最も自然環境に恵まれた本町は、町民の安らぎと、明日への生活の豊かさを求めて、公社事業の整備が着々進められています。昭和二十七年度から進めた住宅政策は町内外から依然として入居希望者が後を絶いません。昭和二十七年度も引き続き積極的に住宅政策を取り入れ、稗田地区に初めての中高層（三階建）住宅の建設が進められており、新世帯への暖かいサービスと、入居

希望者の期待にそよう努力をいたしております。希望者の期待にそよう努力をいたしております。

只今、建設中の住宅建設工事額一億八百四十九万円、六層三室で、いづれも風呂、水道、ガス施設等が完備されています。入居希望者は町建設課建築係に申込んでください。

▽入居募集期間
昭和五十二年一月二十日から
△戸数 二十四戸
▽入居予定



昭和五十二年四月一日予定

▽家賃 一万三千円以上
一万六千円以内

国民健康保険税の場合、不申告者については低所得者に対する軽減措置を受けることができません

ので十分にご注意ください。

昭和五十一年度の国民健康保険税例にとづいてみると、申告者に対する軽減措置を受けることができません

うになります。申告をされた人のとの差は歴然とされています。

以上のような事例から判りますように、申告は非常に重要ですから、十分に認識され正確な申告で納得いく納税をしていただきたいたいものです。

尚、申告の日程等については後日、回覧広報にてお知らせいたします。

（別表）

3人世帯の場合	
所得 26万円	所得 19万円以下
申告をしなかつた場合	申告をした場合
保険税額	保険税額
26,450円	18,260円
申告をしなかつた場合は8,190円余計に納めることとなります。	申告をしなかつた場合は12,270円余計に納めることとなります。

-4-

成人式

昭和五十二年度の成人式は左記のようすに挙行いたします。成人者のみなさんお説いあわせのうえご出席ください。

一、日時 一月五日午前十時
二、場所 三股小体育館
三、該当者 昭和三十一年四月二日

（昭和三十二年四月一日の間に生まれた者）

消防始め式

「消防出で式」は、消防が新年最初に飾る訓練であります。

今年も、一月十四日に三股小学校校庭に団長以下百四十七名が集い、訓練並びに発水がはなばなしく展開されます。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通り頂きました。故人の冥福をお祈り致しますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させて頂きます。

昭和五十一年十一月二十九日まで

忌明寄付 納入者 故人名 部落 金額
吉行正熊 吉行国則 大野 一万円

只今、年末年始の交通安全運動が展開されています。町民総ぐるみで安全運動にご協力下さい。

さて、この一年間（十月現在）に町内の者が五五人事故を起こし、また、飲酒運転者も三六人で県下で三番目に悪い記録であります。

そこで、次の事項が交通安全協会役員会で決議され、本年度から交通三悪者は町の回覧広報で皆さんにお知らせし、違反者の反省をうながすものであります。

この回覧広報に掲載されないよう、安全運転をいたしましょう。

※飲酒運転で検挙された者
※無免許運転で検挙された者
※制限速度二五km以上オーバーで検挙された者

町回覧広報紙掲載

無念の涙、苔むして

—平氏、落武者の墓—

達の墓が、今当人に移り住み、その墓が、今当人に苔むしている。寺柱の国分氏所有地にある墓がそれで、表面に「列案

その昔、平氏破れて源氏の世の中となり、文治元年（七九一年前）源頼朝による、鎌倉幕府の政治が始まつた。地方の政治は、諸国に守護・地頭が置かれ、平氏の絶滅が計られ、平氏の生残りに対する追及は、きびしかつた。

戦に破れた平氏の落武者たちは三々五々と地方に身をひそめたがここ宮村、寺柱にも、この人達が

平盛の孫、行盛は鎮西に下向その子、隆盛は、鹿児島県の末吉に落着き、その子、正盛の代には鹿児島県の財部に住んだが、この隆盛、正盛、二人とも「肥後安芸の

寺柱の平氏落武者の墓にある、「瀬尾肥後守」は、肥後（熊本県）から落ちのびて、この地に着いた、

平氏の一族であることが推察される。なお、当時の日、薩、隅、三国の守護職は惟宗忠久（島津忠久）（島津家初代）であった。



林文庫を設置

この度、町文化賞を受賞された林三世子さんより、町の教育振興のために役立てくださいと十萬円のご寄附をいただきました。町は、早速林三世子さんの心暖まる善意に感謝を申し上げ、町立図書館に林文庫を設置することにいたしました。町民の皆さん一人でも多くの方々のご利用をお待ちしています。

三股町の人口

昭和51年12月1日現在

男 7,580人	出生16人
女 8,560人	死亡10人
計16,140人	
世帯数	4,839戸

納税

一月

県町民税	四期
保険税	五期